

九州情報大学大学院経営情報学研究科の「学習成果」について

「建学の精神を踏まえ、経営情報学を究めて、高度な専門職業人や研究者として社会に貢献できる能力の修得」

本研究科では、建学の精神を踏まえ、研究科の教育目的・目標に基づいた学習成果を、上のように定めている。大学院の教育目的・目標である経営情報学の専門知識を修得させて、高度な複合的専門職業人並びに研究者を養成するために、専門教育の3本柱である、経営・マネジメント、税法・会計、情報・データサイエンスの専門知識が修得できるカリキュラムを準備し、院生の専門的学習成果の達成に努めている。院生が演習指導教員の適切なアドバイスを受け、修了に必要な講義科目を選択・履修して単位修得すれば、専門的学習成果が達成されたものと認定される。

また、修了後に高度な専門職業人や研究者として社会に貢献させるという目的の達成のためには汎用的学習能力の獲得が必要との判断から、学位論文作成の過程で「合同ゼミ研修（論文中間発表会）」や「修士論文発表会（博士論文の場合は公開審査会）」への参加を義務付け、文章表現能力のみならず、口頭発表・質疑応答能力等の情報発信能力の涵養に努めている。本研究科では、教育目的に基づいて、専門的学習能力に加えて、こうした汎用的学習能力を涵養することで、所期の学習成果が達成されたと判断し、課程の修了を認定して学位を授与している。